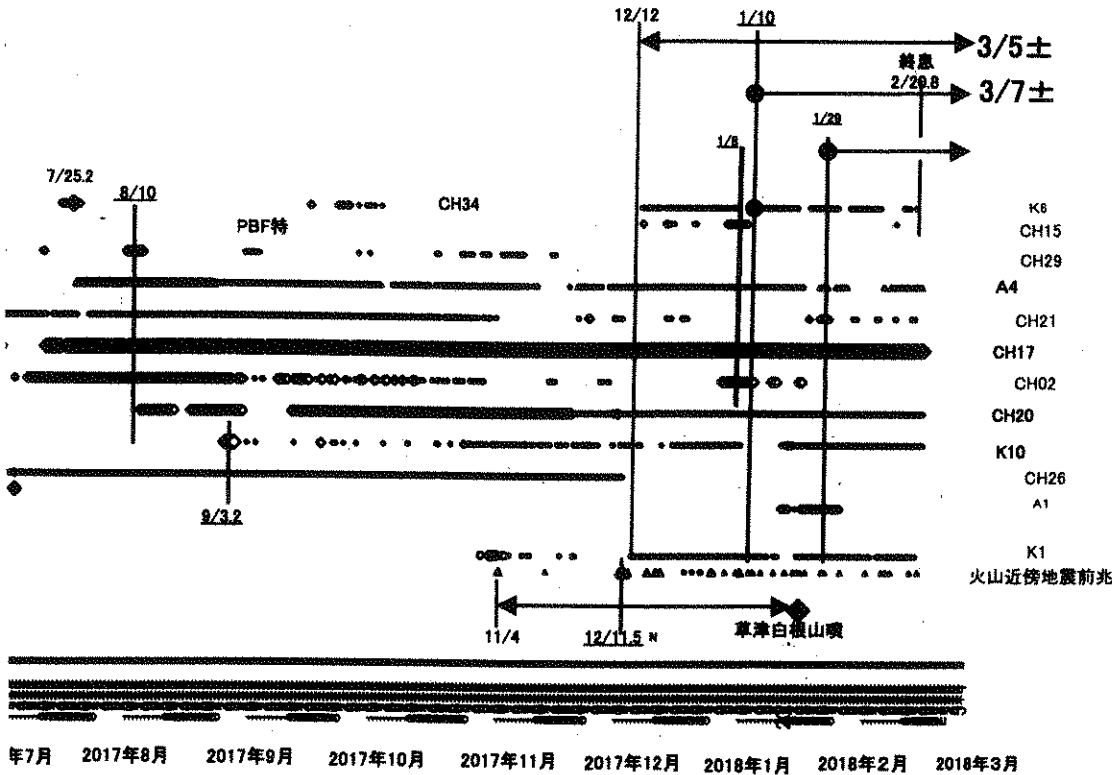


原稿校了後の前兆変化について

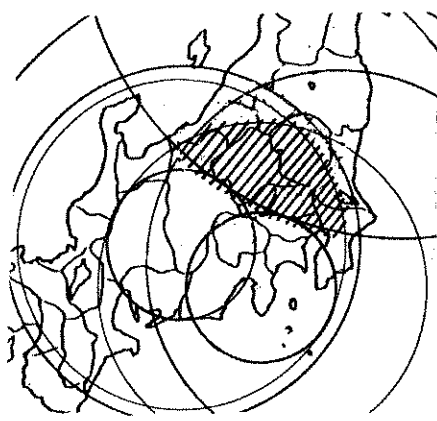
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 第24ステージ示す時期=早い場合でも 3/7±に修正
今月末迄に前兆が終息しない場合は再検討必要



長期継続特殊前兆のNo.1778前兆は現在24ステージ認識。
1/29の極大が現段階での最終極大認識ですが、その後、明確な極大は観測されておりませんし、新たな前兆出現も認められません。
2/22本日午後現在、前兆出現が継続している八ヶ岳南麓のCH17, 20 及び高知観測点のK10 の特異前兆は引き続き継続出現中です。K6の弱いWfが、2/20夕刻まで出現していたため、現在の前兆動向認識が仮に正しい場合でも 3/5以前は示されません。K6が今後また再出現する場合や、他の前兆が今月末以降も継続出現する場合は、3/7±の可能性も否定されますので、再考が必要です。現状早い場合でも 3/7±に修正。

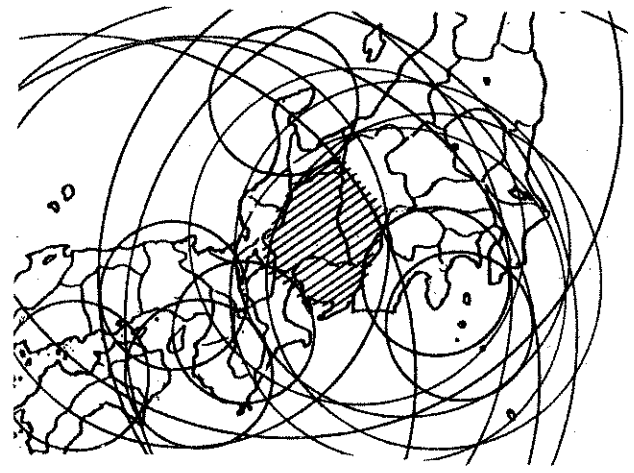
※ 3/7±の場合は2/25.8±に前兆終息が計算されます。



上図は影響局誤認の場合の推定領域図
但し、不整合な前兆が複数あるため、可能性は低い見解。あくまでも参考。

- 推定領域: 右図斜線域内
影響局誤認の場合は左図
- 推定規模: M7.8 ± 0.5
- 推定時期: 前兆終息後
計算予定
- 地震種: 震源浅い陸域
地殻地震

○推定発生時刻: AM 9:00 ± 1
(又は PM 6:00 ± 3)



現状考えやすい推定領域図